いとるらいふ強

(社福) みんなでいきる 障害福祉事業部りとるらいふ

発行日:2021年9月

あっという間に8月が過ぎ9月になりました!少しずつ気温も下がってきて過ごしやすくなってき ましたね♪ ですが、マスクをしているのはやっぱり息苦しい… みんなの笑顔が輝く、マスクのいらない

さて、今月号通信のトップ記事は夏の思い出特集となっております☆ 縁日をしたり、水遊びをしたり、 美味しいものを作ったり…!? みなさん思い思いに夏を楽しまれたようです♪ ぜひご覧ください!







広いフロアでミニ縁日!

輪投げは何点入るかな?



蒸し暑い中、

太陽の光をたくさん浴びた

ミニトマトを収穫♪



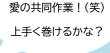












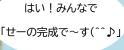




今年初収穫のかぼちゃ!

上手く切れるかな?















ラ リレーエッセイ



「好きな名言」

世の中には、政界、財界、アスリートなど著名な方の名言 は沢山あります。そんな名言が、各種研修等の資料に引用さた。 れています。

私の愛読書に元野球解説者の野村克也氏(2020年没)の著 書がある。

その中に、

「人間的成長なくして技術的進歩なし」

という一節があり、この言葉は、野村氏が高校時代の恩師 (監督) に言われた教えがもとになっており、以来、生きる 指針としてきた言葉である。

人間的成長とは何かを考えた時、一口に言うと人として当 たり前のことを当たり前にできるようになることではないか と思う。

未だ、成長途上にあり日々反省しているところである。反 省ならサルでもできると言われそうである。

次回のテーマ「コロナが終息したら行きたい場所」





「夏の思い出」

上越市に引っ越してきてから早いもので 8 年が経ちまし

今回のテーマ「夏の思い出」ですが、これから上越地域で 夏の思い出を作りたい場所をあげてみました。新型コロナ ウイルスが落ち着いたら少しずつ行ってみたいと思いま す!このほかにも、夏におすすめの場所があったら教えて ください!

- ・大島と五智へ「ところてん」を食べに行く!
- ・南葉山でキャンプ!
- ・上越の浜を海水浴で全制覇?!
- ・砂防公園で水遊び!
- ・苗名滝でトレッキングと流しそうめん!
- ・ 弁天岩で夕日を眺める!
- ・謙信公祭をリアルに感じる!
- くわどりのカフェでゆったり!
- 総務課 課長 相羽正幸 ・星のふるさと館の夜イベントに参加する!
 - ・ぶどう狩り!ブルーベリー狩り!栗拾い!



思い出を作りたいところはまだまだあり書ききれないほ どですが、今回はこの辺で…

総務課 橋本ちひろ

次回のテーマ「好きなもの」

ふあみりあイベント

ふぁみりあ夏のイベント「オリジナルかき氷を作ろう!」と題し て8月8日(日)に実施しました。ご利用者様が力を合わせて、 硬い氷を職員と一緒に削り、自分なりのオリジナルかき氷を作り ました。完成したかき氷を見て「わぁい!出来たぞ!」と自分で作 ったかき氷を美味しそうに食べられ「満足!満足!」とご機嫌の皆 様でした!





歩くから道になる 歩かなければ草が生える

生活介護 きら 主任 大滝健一

「歩くから道になる 歩かなければ草が生える」

詩人、相田みつをの言葉です。私が社会人1年目の職場の上司がよく口にしていた言葉でした。

ご存知の方も多いかと思いますが、私は登山を趣味としています。登山ではゆっくりでいいので一歩一歩登り、歩き続けるこ とで、確実に山頂に近づいていきます。時には遠回りと思える道でも、とにかく歩き続けることが大事。富士登山を途中で断念 する人の中には、ハイペースで登り始め、途中でバテてしまう人も多いと聞きます。ゆっくりマイペースで歩き続けることも大 事なんでしょうね。

現在、コロナにより、以前のように自分の思い描く道を歩き続けること自体ができなくなってしまいました。山登りを趣味と いうか人生そのものと感じていた私には、絶望的な事態です。山登りだけでなく、世の中の様々なことが、コロナによってスト ップしてしまいました。音楽が好きな人、旅行が好きな人、飲み会が好きな人、カラオケが好きな人、全てがそれぞれの求める 道を思うように進めない状態です。

私自身、焦りを感じています。仕事とプライベートのオンとオフの切り替えがうまくいかず、結果、仕事中もすっきりした気 持ちになれない自分を感じます。もちろん、一生懸命仕事していますが。

そんなとき、「歩くから道になる 歩かなければ草が生える」という言葉を思い出しました。振り返ってみると、焦りの原因 は、「歩かなければ草が生える」という思考で、登山においての体力や技術がどんどん落ちてしまう、そうなると山に登るのが億 劫になり、登山そのものから遠ざかってしまうのではないかという不安を感じていたのだと思います。

少し立ち止まって、「歩くから道になる」を信じて、今できること、やれることをとにかく始めてみようと思います。歩ける道 は一つではなく、とりあえず歩いていれば、いつか思わぬ道ができあがっていくことを信じながら、とにかく思いつく限り何か を始めてみる。これが今の自分の目標です。

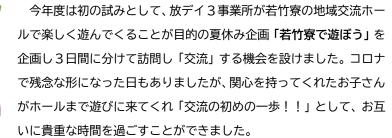
かといって、具体的に何をやるかは決まっていません。不要不急でない、密を避けられる、それでいて日常から少し離れられ ることって、本当にこのコロナ禍で探すことは難しいなと感じます。

来年度、コラムを書くことになったら、「こんなこと始めてこんな道が見え始めました。」と皆様に報告できることを目指し、 今回はここまでにしたいと思います。

コロナ感染が早く落ち着いてくれることを願います。











מות ומות ומות ומות ומות